



管内で田植え始まる GPSで、和牛値下ピンチ

2020年(令和2年)5月16日(土曜日) 16歳 告 2

田植え 自動運転で

GPS機能付き導入進む

新十津川



【新十津川】ロボット農機など先端技術を取り入れた「スマート農業」を推進する町内で田植えが始まった。衛星利用測位システム(GPS)機能付きの田植え機を初めて導入した町花月の奥田英雄さん(49)は13日、田植え機の自動運転に任せながら息子の啓太さん(20)らと次々に苗を植えていった。

町の次世代農業推進事業補助金を活用し自動運転の田植え機を購入、町内で最も早い7日から田植えを始めた。奥田さんによると、今までは田植え機に苗がなくなると自動的に運転を止めていたが、自動運転の田植え



機は巡回作業を人が行うものの直進時は機械に任せ、1人で苗の補給をすることができるよう作業効率が上がったという。奥田さんは「ななつぼし」と「ゆめひりか」の2品種を計25・6秒作付けする。町によると、GPS機能付き田植え機の補助金の請は本年度9件、2019年度の補助事業開始以降計33戸が導入することになり、スマート農業が広が

を見せる。町内の家が所属するビンネ農協によると、今の町内の主用米と酒米作付面積は510畝の定。(藤原那奈)



休職者「出向」マッチング

飲食・宿泊業→農業・水産加工業

道、経産局が事業開始

道、経産局が事業開始

収入減農家に支援金検討

政府 2次補正で最大150万円

直播米「えみまる」発売

ホクレン 省力化と味両立

和牛肉価格の推移

和牛肉価格、下落深刻

和牛価格、下落深刻

7年半ぶり安値

北海道経済産業局は、新型コロナウイルス感染症の影響で外国人観光客が減少し、観光業が不振を来している中、道内の観光業に雇用されている休職者を、道内の観光業に再雇用させることを目指している。道は、観光業に再雇用された休職者を、道内の観光業に再雇用させることを目指している。道は、観光業に再雇用された休職者を、道内の観光業に再雇用させることを目指している。

政府は、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した農家に、2次補正で最大150万円の支援金を検討している。道は、収入が減少した農家に、2次補正で最大150万円の支援金を検討している。

直播米「えみまる」は、ホクレンが省力化と味両立を両立させた品種で、今年から発売される。直播米「えみまる」は、ホクレンが省力化と味両立を両立させた品種で、今年から発売される。

和牛肉価格の推移は、4月の東京食肉市場の卸売価格は前年同月比3割安で、7年半ぶりの安値を記録した。和牛肉の価格は前年同月比3割安で、7年半ぶりの安値を記録した。

和牛価格、下落深刻。和牛は道産牛肉全体の1割弱だが、ブランド化が進んで販路が広がってきた。和牛は道産牛肉全体の1割弱だが、ブランド化が進んで販路が広がってきた。

和牛価格、下落深刻。7年半ぶり安値。和牛は道産牛肉全体の1割弱だが、ブランド化が進んで販路が広がってきた。和牛は道産牛肉全体の1割弱だが、ブランド化が進んで販路が広がってきた。

和牛価格、下落深刻。7年半ぶり安値。和牛は道産牛肉全体の1割弱だが、ブランド化が進んで販路が広がってきた。和牛は道産牛肉全体の1割弱だが、ブランド化が進んで販路が広がってきた。

道、経産局が事業開始

道、経産局が事業開始

道、経産局が事業開始

直播米「えみまる」発売

直播米「えみまる」発売

和牛肉価格の推移

和牛肉価格、下落深刻

和牛価格、下落深刻

和牛価格、下落深刻